

新川地区	参加学校名（発表順に記載） 滑川高校、上市高校、雄山高校、入善高校、桜井高校、魚津高校
各校における情報教育の取り組みについて （「情報」の問題点やその工夫、情報セキュリティ、ネットワーク管理等）	
【各校の現状報告】 ・滑川高校 今年度より 4 学科（普通科・商業科・薬業科・海洋科）の編成である。 普通科は情報 B を履修しており、1 年生 1 単位・2 年生 1 単位になっている。 通常の教科書の内容の他、大学訪問の準備・報告等も行っている。 商業科や海洋科も情報 B を履修しており、1 年生で 2 単位になっている。 科の要望として、通常の教科書の内容の他、検定試験の取得のための学習も行っている。実習を指導する際に、生徒の PC スキルの差の差を感じている。 また最近の傾向として、情報モラルの指導の重要性も感じている。 ・上市高校 1 年生で 2 単位履修しており、1 学期に情報モラルの指導を行っている。 期末考査前に集中して座学を行い、それ以外では実習を行うようにしている。 生徒は問題解決型の学習を不得意としており、指導の難しさを感じている。 また、生徒の PC スキルの差についても感じている。 ・雄山高校 普通科は情報 C を、生活文化科は専門科目を履修している。 パワーポイントで部活動紹介を作成したりしているが、生徒同士で教えあうなどして実習の指導を工夫している。実習は PC 室で行うが、座学は教室で行っている。 ・入善高校 情報科そのものが校内で確立されておらず、情報科のスタッフが不足している。 実習の際には、情報という教科を教える以外の苦勞（生徒の実習に取り組む態度や姿勢の指導）も感じている。実習を 1 人で担当するのは負担に感じる。 ・桜井高校 情報の授業は理科と数学の教員で分担して指導してきたが、今年度は講師の先生 1 名で担当している。例年座学も PC 室で実施してきた。生徒の PC スキルについては年度によって差があるような印象を持っている。 ・魚津高校 普通科は 1 年生で 2 単位、理数科は 1 年生 1 単位・2 年生 1 単位になっており、いずれも情報 B を履修している。特に理数科では課題研究等があるため、パワーポイントやワードの指導に力を入れている。情報の授業は理科や数学の教員で分担している。 【全体を通して】 ・情報を担当する教員を年度初めにその都度選んでいるのが現状である。 ・職業科等では科の先生が担当すると都合の良い場合も考えられる。	